

晩生のリンドウ「福島栄 22 号」の育成

福島県農業総合センター 作物園芸部 品種開発科

部門名 花きーリンドウー品種、育種・選抜

担当者 福田秀之、野田正浩、近内智子、松野香子

I 新技術の解説

1 要旨

本県リンドウ産地の生産振興を図るため、頂花咲き性が優れ、需要期に採花できる品種や花に特徴のある品種の育成が求められている。このため、晩性で青紫系のリンドウ「福島栄 22 号」を育成した。主な特性や育成経過については以下のとおりである。

- (1) 花色は青紫色で裂片に白い斑点が多数入る。草丈は定植 3 年目株で 70~90cm 程度である (表 1)。
- (2) 郡山市において、9 月第 3 半旬に開花盛期となる晩生品種であり、「ふくしまかれん」とほぼ同等で、「尾瀬の大将」より早い (表 1)。
- (3) 「ふくしまかれん」、「尾瀬の大将」と比較して、気温が低くなっても花卉が閉じにくい (図 1、2)。
- (4) ササリンドウ系の選抜個体である母株と父株を交配して得られた後代からの選抜個体を栄養繁殖した系統である。

2 期待される効果

- (1) 鮮やかな花色を持つことから、フラワーアレンジメントやブーケなど仏花以外の利用が期待できる。
- (2) 栽培地域によっては、彼岸需要向けの青紫系リンドウ品種として、市場販売単価が比較的高い時期の出荷を狙うことができ、生産者の利益向上に寄与できる。
- (3) 他のササリンドウ系品種と比較して、装飾中に花卉が閉じにくく、室内の照明下で高い鑑賞性が維持されるため、優れた特性として実需者に対してアピールできる。

3 適用範囲

- (1) 県内全域

4 普及上の留意点

- (1) 採花期間が比較的短期であり、収穫作業が集中することから、作業労働力を考慮して導入面積を検討する必要がある。
- (2) 高冷地や融雪の遅い地域では、露地での開花期は 9 月下旬頃以降になる。
- (3) 病虫害防除は、慣行と同様の適期防除が必要である。

II 具体的データ等

表1 リンドウ「福島栄22号」の開花期特性(定植3年株 2017年)

主要特性	福島栄22号						ふくしま かれん	尾瀬の 大将
	広野町 折木 (標高)100m	玉川村 南須釜 500m	南会津町 長野 500m	南会津町 小立岩 650m	只見町 塩ノ岐 500m	郡山市 多田野 300m	郡山市 多田野 300m	郡山市 多田野 300m
開花期	9月 第2半旬	9月 第5半旬	9月 第5半旬	9月 第6半旬	10月 第3半旬	9月 第3半旬	9月 第3半旬	10月 第1半旬
花段数	5.4	5.6	5.5	5.4	5.1	5.6	6.1	4.8
草丈(cm)	77.5	85.5	82.4	84.1	88.3	74.1	119.6	89.5
茎数(本)	12.6	7.1	11.9	12.2	11.0	10.2	10.2	9.9
葉長(cm)	6.6	6.3	5.8	6.6	6.2	5.4	8.0	5.6

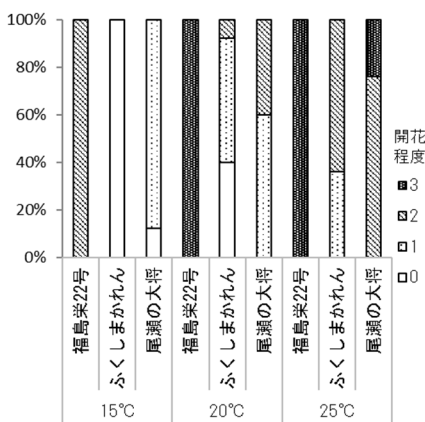


図1 各温度条件下における開花程度

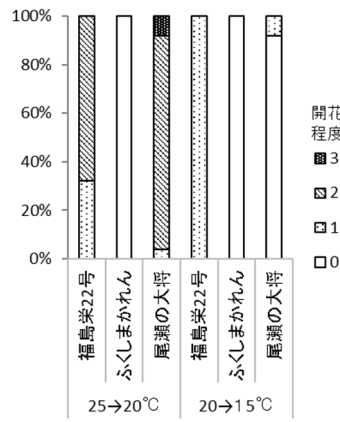


図2 降温した時の開花程度

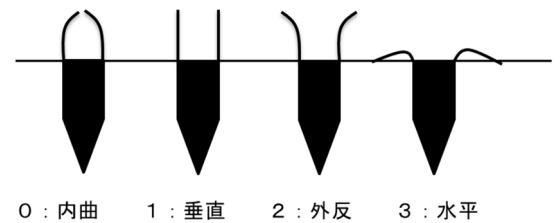


図3 開花程度

(図1, 2)

切り花を各温度条件下に移した後、2時間後に
花卉の開閉程度(図3による)を調査。

III その他

1 執筆者

近内智子

2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成20年～平成30年度

(2) 研究課題名 競争力と個性のある花き品種の育成

3 主な参考文献・資料



図4 リンドウ「福島栄22号」の切り花 (拡大)